

海岸まちぢから

第8号

住んで良かったまちづくり

発行日 令和4年7月1日 第8号
発行人 海岸地区まちぢから協議会
会長 林 正明
海岸地区コミュニティセンター
TEL 0467-82-6618
印刷 ストリートファクトリー
TEL 0467-81-5594

「住んで良かったまち」から 「住み続けたいまち」へ



海岸地区まちぢから協議会
副会長 丸山 泰

日増しに海の青さが夏らしく輝きを増してきた今日この頃、皆様におかれましては、夏のいびきを感じられていることと思います。

コロナウイルス感染防止の観点から2年間市ならびにまちぢから協議会の行事は全て中止となりました。今年度も制約のある活動にはなるとは思いますが、当協議会キャッチフレーズ「住んで良かったまちづくり」をめざして活動してまいります。

主な活動として

1. 安心・安全のための防災・減災活動

① 感震ブレーカー設置事業

小規模住宅密集地域(クラスター)である海岸地区において、大規模地震発生時の通電火災対策として感震ブレーカーを全自治会員宅の70%以上に設置を完了し今後

も継続してまいります。

- ② 防災訓練の実施
- ③ 防災研修会の開催

2. みんなが楽しめるイベントの開催及び支援

- ① 盆踊りの開催
- ② 梅まつりの共催
- ③ 地区社会福祉協議会主催のふれあいの集い支援(11月13日、うみかぜテラス)
- ③ 茅小・東小学区推進協のお祭り行事支援

3. 地域課題の発見と解決

- ① 市民集会の開催

4. 日頃の地域づくり活動の推進・支援

地域で活動する自治会・協議会を支援するとともに、情報を交換及び共有し、行政とも密接に連携・協力してまいります。

5. 広報活動

- ① 広報紙「海岸まちぢから」発行(年二回)
- ② 掲示板(14か所)での情報周知

これらの活動を通じて地域の皆さんに「住んで良かったまち」から「住み続けたいまち」と思っただけできるよう頑張っしてまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

海岸地区まちぢから協議会には広報部会、防災安全部会、イベント企画部会が組織され、それぞれ、まちぢから協議会の活動の一端を担っています。

防災に関する資格を持っている、写真撮影が趣味、ホームページを作ったことがある、広報紙発行の経験がある方などで、まちぢから協議会の活動に関心のある方のお力を求めています。ぜひご参加ください。

ご参加いただける方は、メールアドレス

kaigan.machidikara@gmail.com にご連絡ください。

部会員募集!!



2022年度運営委員一覧

役職	氏名	所属
会長	林 正明	東海岸北二丁目自治会
副会長	真野 宗直	東海岸南三丁目自治会
副会長	丸山 泰	海岸地区民生委員 児童委員協議会
書記	今泉 勲	東海岸南一丁目自治会 東海岸小学校区 青少年育成推進協議会
会計	島田 渡	東海岸南五丁目自治会
監事	渡辺 末一	東海岸北四丁目自治会
監事	佐藤 良一	海岸地区コミュニティセンター 管理委員会
委員	山本 俊夫	東海岸北一丁目自治会 ボランティアセンター海岸
委員	米井 博之	東海岸北三丁目自治会
委員	仁井田徳久	東海岸北五丁目自治会
委員	大野 茂生	東海岸南二丁目自治会
委員	中村 嘉人	東海岸南四丁目自治会
委員	和田 智弘	東海岸南六丁目自治会
委員	小林 正尚	パシフィックガーデン 茅ヶ崎自治会
委員	鈴鹿 隆司	海岸地区社会福祉協議会
委員	原 京子	茅ヶ崎小学校区 青少年育成推進協議会
委員	加藤 大嗣	海岸地区体育振興会
委員	町田奈津美	地域包括支援センターあい
委員	山田 秀砂	推薦委員
委員	登尾 泉美	推薦委員
委員	飯田 誠一	推薦委員
委員	佐野奈緒子	公募委員

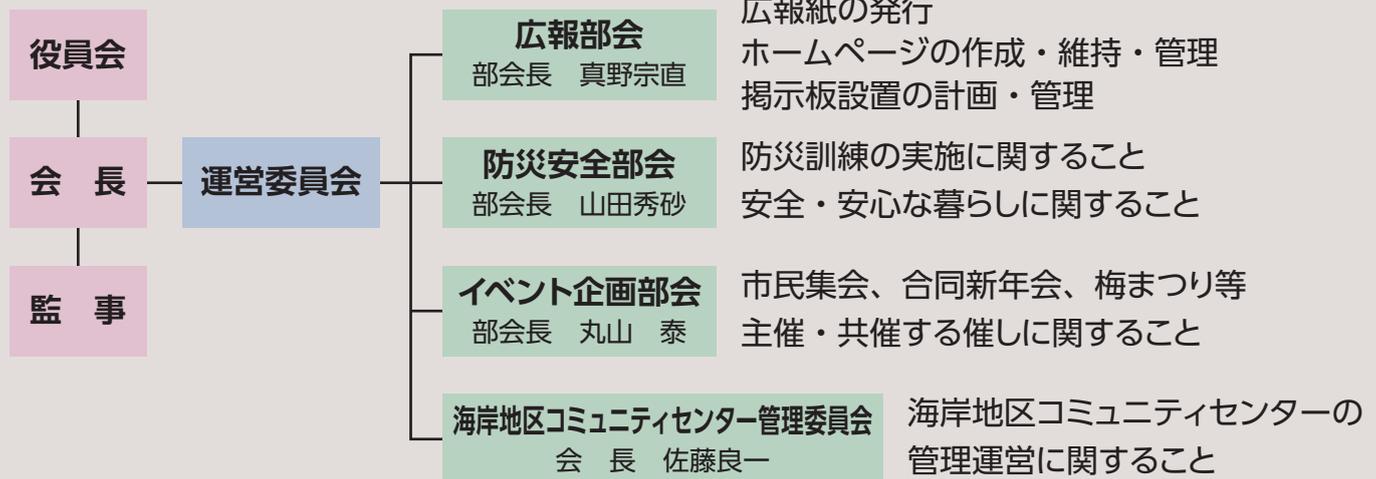
2021年度決算報告・2022年度予算

【収入】 (単位：円)		
項目	2021年度決算	2022年度予算
前年度繰越金	5,589	5,598
補助金	538,000	750,000
分担金		116,000
事業費		590,000
助成金	2,500,000	0
その他	9	2
計	3,043,598	1,461,600
【支出】 (単位：円)		
項目	2021年度決算	2022年度予算
事務費	26,921	30,000
会議費	30,422	50,000
広報啓発費	14,302	50,000
事業費	154,635	935,000
負担金	13,380	15,000
うみかぜテラス使用料	14,990	180,000
広報紙発行委託料	198,000	198,000
広報掲示板設置事業	2,500,000	0
小計	2,952,650	1,458,000
予備費	0	3,600
市への返還金	85,350	0
次年度繰越金	5,598	0
計	3,043,598	1,461,600

2021年度事業計画

事業項目	実施予定日	内容
1 海岸地区まちぢから協議会の運営に関する こと	通年	○海岸地区まちぢから協議会の目的を達成するための事業等について、 役員会・運営委員会等で随時協議していく。 ○総会、役員会、運営委員会の開催のほか運営に関する事務
2 広報活動の強化検討	通年	○人員を刷新し、ホームページの運営、広報紙発行(6/15、12/15 予定) 及び掲示板の維持管理・活用に関する協議をしていく。
3 海岸地区感震 ブレイカー設置事業	通年	○大規模地震時の通電火災対策のため、各自治会が実施している啓発及 び新規設置等に関する必要な支援を実施する。
4 盆踊りの開催	8月14日(日)	○地域住民の連帯感を高め、地震などの災害時に自助・共助の力を発揮 するため盆踊りを検討、実行委員会を組織し、開催する。
5 海岸地区市民集会	10月1日(土)	○地区住民が感じている茅ヶ崎市の課題等について、行政と協議するこ とを目的に開催する。
6 海岸地区防災訓練	10月15日(土)	○実行委員会を設け、運営方法を協議していく。
7 海岸地区新年会	2023年1月14日(土)	○実行委員会を設け、実施計画を協議していく。
8 梅まつり	2023年2月11日(土)	○実行委員会を設け、茅ヶ崎南地区まちぢから協議会との共催をより積 極的に実行計画を協議していく。

海岸地区まちぢから協議会組織図 (2022年6月現在)



海岸地区の避難所の運営について

避難所は、災害が発災したときに危険が去り安全が確認されるまで地域住民が待避する場所です。海岸地区では、第一中学校(医療避難所)、東海岸小学校、茅ヶ崎小学校の三か所が避難所に指定されています。

また避難所は、あらゆる災害で被災し自宅に住むことが出来ない人達が短期間生活をする場所でもあり、自宅避難のかた方も、避難所で色々な配給や情報を得る事が出来ます。そして避難所の運営は、原則として地域住民が行政と力を合わせて運営することになっています。

海岸地区では、地域の自治会、自主防災会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、青少年育成推進協議会、地域包括支援センターなど海岸地区まちぢから協議会参加団体が協力し、運営することになります。そのため、協議会では防災安全部会を設置し、平常時から訓練方法を主催し、防災に係わる組織機能の改善を話し合い、全世代すべての地域住民への周知活動と協力を呼びかけています。

避難所運営には次の「2つの大切なこと」があると考えています。

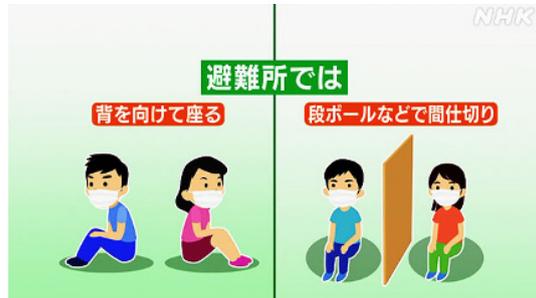
1. 心理的安全性の確保

- 被災し恐怖・不安・疲れで弱り切った心と体を少しでも休ませることのできる場所であること。
- 知り合いの顔を見ることが慰めになる過去事例から、コミュニティを重視すること。
- 避難所運営に係わる人達の、志と行動の統一を計る事で避難所運営の明確なビジョンを持つこと。

2. 物理的安全性の確保

- 地域住民の身体を二次災害から守る安全な場所で在ること(地震後の火災など)。
- 地震後の台風の襲来などの重複災害の発生も考えての安全性を確保すること。
- 感染症予防の徹底のための見識向上・対策を講じるとともに、研修会を実施し地域住民へも周知すること。
- 子ども・女性・妊婦・要支援者・高齢者などの要望を知り避難所の備蓄内容を精査すること。
- 医療避難所には医師、看護師が配置されることになっているが、被災時の確約はないことを考え対策を前以って講じておくこと。

先の熊本地震では地震での直接死は50名、6年後の今、災害関連死を含むと276名までに増えています。震度7クラスの地震に2度続けて見舞われるという特殊なケースですが、死者の約8割が70代以上、3割が80代で、その内9割が既往症を持つ方でした。



震災後の心的ストレスは避難所・自宅・車中泊・移住に限らず環境の変化がリスクを抱えた人の体調悪化を招いています。この点からも避難所運営にいちばん必要なことは、心の通じ合えるコミュニティの存在と人を思いやる気持ちです。防災部会では、平時から各参加団体の意見を取り込み話し合った中で、「2つの大切なこと」を最優先に研修会開催や地域住民の参加の下の訓練を重ねていく予定です。

コロナ禍で何度か順延していた、感染症蔓延化での避難所運営について、5月29日(日)に愛生会赤沼医師を講師に迎え研修会を開催しまし

た。今回はこの研修会内容を皆さんにお知らせする予定です。

海岸地区の住民の皆様、避難所は、その地域コミュニティの全てが映し出されます!!

海岸地区は「あたたかい思いやりを軸に、地域住民・全世代の多様な視点からの知をいかして地域防災力をどこまで上げられるか」のチャレンジをしていきます!!

「ご自分の知識が家族を守る」との考えのもと、防災部会に参加しませんか。特にいま必要なのは女性の視点や新たな視点を防災に活かすことです!! お待ちしています。

(防災安全部会 部会長 山田 秀砂)



編・集・後・記



「海岸まちぢから」の創刊は平成30年(2018年)8月で、丁度4年が経過したことになる。号数も8号となった。なんだ未だ僅か4年か、とお思いかもしれないがコロナ禍で行事が全て中止となった2年があり、掲載記事に頭を悩ませた4年間でもあった。なんとか休刊せずに8号を発行できてホッとしている。

本広報紙の発行目的は、自治会加入の有無に関係なく、地域に関係する方全員の繋がりをはかることにある。まだまだ理想には程遠く、目的を達成するには工夫の余地満載だと痛感する次第。(M.M.)